

記入上の注意事項

- 1 申請人（本店）の欄は、会社の商号又は名称、代表者の職氏名、本店の所在地、電話番号及びFAX番号を記入してください。
- 2 委任先の欄は、委任先支店等の名称、受任者の職氏名、委任先支店等の所在地、電話番号及びFAX番号を記入してください。（年間委任状を提出される方のみ記入願います。）
- 3 担当者の欄は、本組合への競争入札参加資格審査申請事務に係る担当者の部署名、職氏名、電話番号及びFAX番号を記入してください。
- 4 登録を受けている事業に係る登録事業名、登録番号、登録年月日は、申請時現在で営業の登録を受けているものについて記入してください。なお、希望業務内容の中で がついているものについては、法律上営業の登録が必要となります。
- 5 測量等実績高の欄は、希望業種に係る直前2ヶ年間の平均実績高を記入願います。
- 6 資本金の欄は、登記されている資本金の額を記入してください。個人の場合は必要ありません。
- 7 自己資本額の欄は、次により記入してください。
 - (1) 払込資本金：法人にあっては払込み済みの額を、個人にあっては次期繰越資本金を記入してください。
 - (2) 準備金：法定準備金（資本準備金及び利益準備金）を記入してください。
 - (3) 積立金：任意積立金（退職手当積立金等）を記入してください。
 - (4) 「直前決算」及び「剰余（欠損）金処分」の各欄については、申請日直前の決算より記入してください。
 - (5) 減額・損失の表示は 印で表示してください。
 - (6) 千円未満の端数は切り捨てて記入してください。
- 8 営業年数等の欄は、創業年月日及び申請日現在における営業年数（1年未満の端数は切捨て）を記入してください。
- 9 常勤職員の数は、委任先支店等がある場合は当該支店等の職員数を記入してください。
- 10 技術資格者・事務資格者の延人数、技術士・RCCMの延人数は、申請時点で資格を有する者（試験合格者）の延人数を記入してください。
 - (1) 2級建築士、測量士補、2級土木施工管理技士及び不動産鑑定士補は、それぞれ1級建築士、測量士、1級土木施工管理技士及び不動産鑑定士の資格を併せ持つ者を除きます。
 - (2) 「公共用地経験者」とは官公庁において公共用地取得業務10年の実務経験のある者をいいます。
 - (3) 「規定年以上の実務経験者」とは、測量・建設コンサルタント業務（希望業務に限定しない）に、大卒は20年以上、その他は25年以上従事した者をいいます。
 - (4) 技術士・RCCMの定義は次のとおりとします。

技術士・RCCM	技術部門	選 択 科 目	技術士・RCCM	技術部門	選 択 科 目	技術士・RCCM	技術部門	選 択 科 目
土質及び基礎	建設	土質及び基礎	機械	機械	*（注）	農業土木	農業	農業土木
鋼構造・コンクリート	建設	鋼構造及びコンクリート	地質	応用理学	地質	森林土木	森林	森林土木
河川砂防及び海岸	建設	河川砂防及び海岸・海洋	造園	建設	都市及び地方計画	都市計画及び地方計画	建設	都市及び地方計画
電力土木	建設	電力土木	港湾及び空港	建設	港湾及び空港	建設環境	建設	建設環境
道路	建設	道路	鉄道	建設	鉄道	水産土木	水産	水産土木
トンネル	建設	トンネル	上水道及び工業用水道	上下水道	上水道及び工業用水道	電気・電子	電気・電子	不問
施工計画・設備・積算	建設	施工計画、施工設備及び積算	下水道	上下水道	下水道	廃棄物	衛生工学	廃棄物管理

*（注） 機械設計、材料力学、機械力学・制御、動力エネルギー、熱工学、流体工学、交通・物流機械及び建設機械、ロボット又は情報・精密機器

- (5) 同一資格（技術士・RCCM・補償業務管理士）で複数の科目に合格している場合は、それぞれにカウントしてください。
- 11 希望業務内容の欄は、必要となる登録の許可を受けている業務で、希望該当するものにだけに 印をつけてください。
また、「その他」の空欄には、分析解析、宅地造成設計、電算関係、計算、資料整理、施工管理の業務の中から、登録希望の場合に記入してください。